



水産大学校代表

鷺尾圭司

卒業生、修了生の皆さん、ご卒業おめでとう。

水産大学校での学生生活を締めくくり、実社会に旅立つ皆さんの前途を心から祝福いたします。また、この日を心待ちにしておられたご家族、支援者の皆さまにも、あわせてお祝い申し上げます。

水産大学校は、昨年4月から全国に水産研究所を持つ研究機関と一緒に、水産研究・教育機構として、より一層水産分野の指導機関としての役割を拡大しております。世界的にも水産物の需要は旺盛で、地球規模での資源管理や環境対策が求められている今日、水産の総合機関として、これからも発展が期待されております。

皆さんが巣立っていく水産業界は、世間では不景気産業とされているようです。しかしこれは、富の一極集中に向けた資本効率の観点からは儲からない業界と見られているからです。わが国の津々浦々には豊かな自然とそれを生かした暮らしの知恵が集積されており、その宝の山から人々の暮らしに貢献する豊かさを生み出す産業としては、まだまだ可能性を秘めた分野でもあります。

皆さんが水産大学校で身につけられたものは、単なる卒業証書や修了証という資格だけではありません。技術者として物事に対して問を立て、仮説を設けて検証し、周囲の環境や社会と

の関係性を考慮しながら改善を図るというPDCAサイクルの回し方です。さらに、同級生を見渡して下さい。これだけの仲間が、ライバル企業も含めて水産業界に進んでいくことは、わが国最大の水産ネットワークとも言えるでしょう。これからも、ぜひ水産ネットワークを活用して、社会で活躍して下さい。

最後になりましたが、ご多用中にもかかわらず、ご臨席頂きました水産庁からは佐藤一雄水産庁長官、水産研究・教育機構の宮原正典理事長、はじめご来賓、保護者の皆さまに心より感謝の意を表し、皆さまのご多幸をお祈りしてお祝いの辞とさせていただきます。